



	3 月				4 月			
	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)
本年	20.8	14.0	16.9	121.5	24.0	17.5	20.5	119.5
平年	20.5	14.3	17.4	129.8	22.6	16.6	19.6	139.5
平年との差	+ 0.3	- 0.3	- 0.5	-8.3	+ 1.4	+ 0.9	+ 0.9	-20.0

製糖期を終えて

生和糖業株式会社
取締役工場長 菅 靖治

皆さん、こんにちは。

昨年12月18日から始まった今製糖期は、ご承知のとおり久々の記録的な大豊作となり、4月24日に無事終了いたしました。当初計画の76,000トンから3度に亘る上方修正があり、合計95,833トンとなり喜界島に活気があふれて来て、まことに喜ばしい限りです。1ヶ月近くも昨年度より長い製糖期でしたが、きび植え付け・株出し・肥培管理・害虫防除など皆さんの1年間のご苦勞が豊作につながったものと思います。大変お疲れ様でした。

5、6年前の5～6万トン台の苦しい低迷期を乗り越え、8年前の91,000トン进行大きく上回り、平成4年度の10万トンに次ぐ大豊作となりました。

昨年、春先の病虫害も早期対応にて解消されて、その後天候にも恵まれ初夏の旱魃も降雨にて解消し大型台風の被害も全く無かったことと、何よりもみなさんが丹精込めて、きび作りに励んで頂いたことが今日につながっていると思います。

工場も、清掃・機械分解整備を開始して十分な整備を実施して来期に備え、安定操業が出来るよう頑張っていく所存です。

喜界島にこれからもさとうきびが元気に育ち、その恵が島全体にいきわたるよう、そして喜界島のみんながいつまでも元気に豊かに暮らしていけるよう、製糖工場も頑張っています。来期に向けて、皆さんと一致協力して製糖に取り組んでいきますので、さらなる増産に向けて頑張ってください様、よろしくお願いいたします。



◆◆◆28/29年期の各島の生産実績◆◆◆

項 目		生 産 量				買入糖度
		今期 (t)	H27/28期 (t)	増減量 (t)	増減率 (%)	(度)
喜界島	生和糖業	95,833	73,822	+22,011	+29.80	14.29
種子島	新光糖業	158,209	124,921	+33,288	+26.64	13.00
奄美	富国製糖	27,800	19,724	+8,076	+40.94	14.48
徳之島	南西糖業	220,699	167,285	+53,414	+31.92	13.87
冲永良部	南栄糖業	96,500	86,459	+10,041	+11.61	15.02
与論	与論島製糖	32,559	26,706	+5,853	+21.91	15.00
	合 計	631,600	498,918	+132,683	+27.14	14.28

◆◆◆ さとうきびの買入糖度・買入価格・トラッシュ率・歩留の推移 ◆◆◆

項目	買入糖度 (%)	糖度帯 (%)			平均買入価格 (交付金込)	対前年比 (%)	トラッシュ率 (%)	歩留 (%)
		基準以下	基準内	基準以上				
各年								
今 期	14.29	12.3	39.0	48.7	22,825	103.3	9.36	12.19
H27/28期	14.10	12.3	48.1	39.6	22,104	102.8	10.42	12.18
H26/27期	13.43	35.8	44.0	20.2	21,500	97.4	8.32	11.85

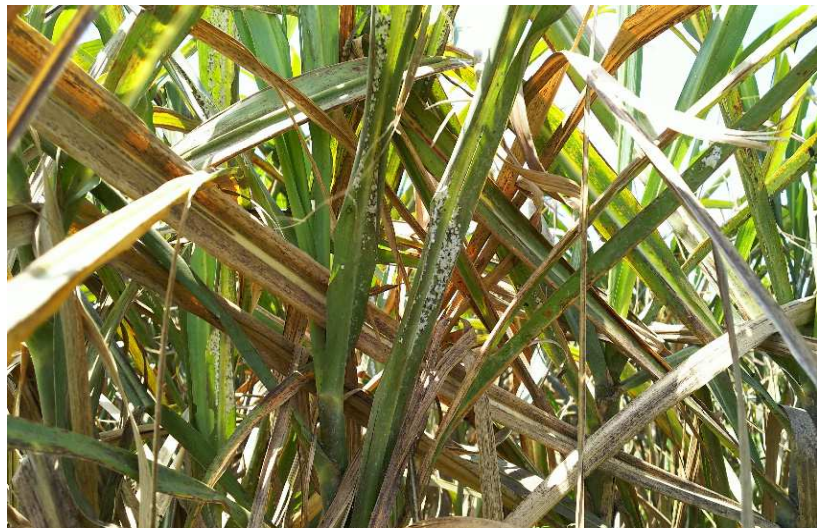
昨年12月～本年1月中旬にかけての甘蔗糖度は13度台前半で推移しました。しかし、1月中旬以降は天候に恵まれ日計平均で14度台後半のキビが安定して製糖終了まで搬入され、累計糖度は14.29度と前期を0.19度上回って終了することができました。



ワタアブラムシ発生に注意！

＊昨年植えた夏植、秋植のサトウキビにワタアブラムシの被害が出ている圃場が見受けられます。

被害が、圃場全体に広がらないうちに対処をしましょう！



無翅虫と有翅虫

有翅虫が飛翔して産卵しコロニー源となります。またウイルスも運ばれてくるので、早期の防除に努めましょう。

＊畑の一部で見かけたときは他に被害が拡大している事も多いので、二度手間にならないように散布時には、「**全面散布**」を心掛けましょう！

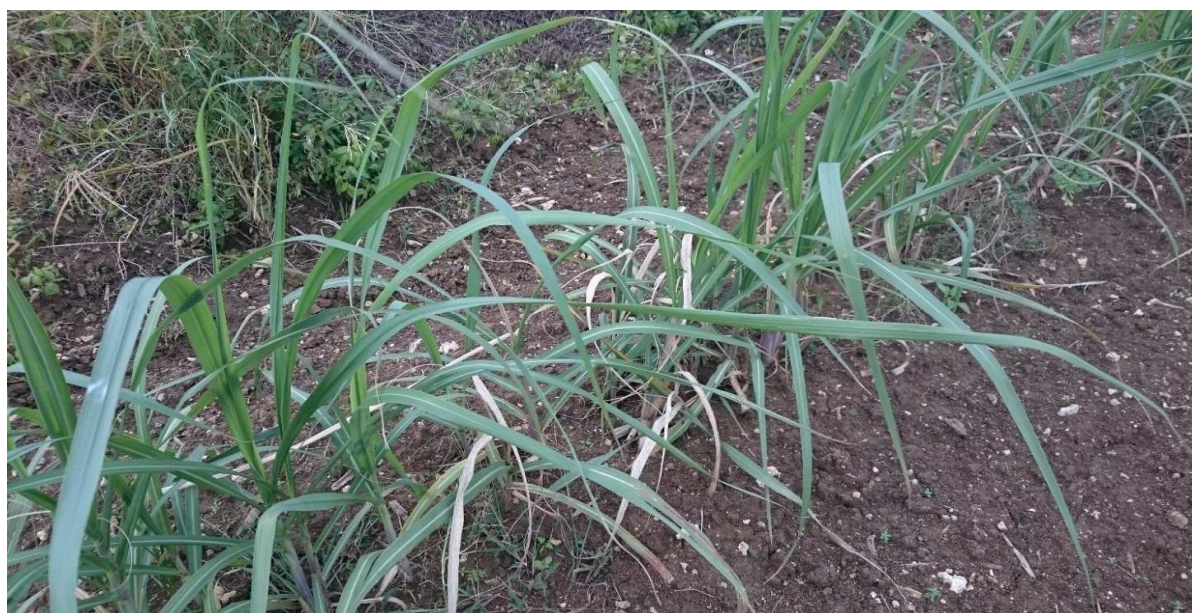
防除薬剤 → スミチオン乳剤 500mℓ
防除倍率 1,000倍 ～ 1,500倍

農薬名	使用時期	使用量	使用回数	使用回数
スミチオン乳剤	収穫45日前	1000倍	100ml/100ℓ(水)	4回
		1500倍	100ml/150ℓ(水)	



散布時はラベルに**記載事項**を**遵守**し、風向きも考慮して**飛散防止**に努めましょう。

メイチュウ被害に注意



夏植や株元に**メイチュウ類の被害**による**芯枯れ**が発生した圃場がみられます。
オンコロOK、サムコムフロアブル10、プレバソン粒剤による**防除**に努めてください。

メイチュウの被害



産卵された場所を中心に円状に被害が広がる。



メイチュウ類は
年間を通して**常時発生**するので、**圃場観察**を行いながら被害に注意を払い、**防除**を行うことが重要です。

防除について
ゴーグル、マスク、手袋、長靴を着用して散布を行いましょう。

編集後記

今期は鹿児島、沖縄両県にとって共にさとうきびが豊作で、農家の皆様方はもとより関係機関にとっても大きな励みとなりました。ハーベスタ収穫率が93%を占める中で96,000 tの生産量は、まだまだキビには伸びしろがあるものと改めて感じるところであります。近年、本町に於いて”土作り対策”として、緑肥栽培による単収向上の取組として講習会を開催し、土作りの技術伝承を行っています。原点に戻り”土作り”の重要性にも目を向け、単収向上対策に努めていきたいものです。



被害が拡散すると

1.品質低下の原因となります。

＊**甘蔗糖度が落ちます。**

昨年の交付金単価で仮に
甘蔗糖度

10.0だと 17,563円/トン
基準糖度の一番低い ↓ **差額 4,415円/トン**
13.1だと 21,978円/トン

＊**大きな減収要因となります。**

スミチオン乳剤の使用については

チンチバクの防除

メイチュウの防除

と併用になるので

散布回数(合計4回)



葉の裏側によくかかるように**ミスト**で散布します。使用器具は**丸5頭口**、**丸7頭口**が**効率よく散布**出来ます。

